Update
NEWSLETTER 秋

http://kic-update.com/en/ Autumn, 2015 No.278
リニューアル第8号

Report

かごしまを語ろう
かごしま語っ場ー2015

ー こうすればもっと鹿児島がよくなるのに。
ー こうなれば鹿児島はもっと住みよくなるはず。
ー こんなものがあると鹿児島はずっと魅力的な場所になるのでは。
ー こんなおもしろい活動を取り入れることはできないだろうか。

そんな思いをシェアしたい。
そこから生まれた「かごしま語っ場ー」、今年も開催しました。

今年も「かごしま語っ場ー」開催しました。昨年に引き続き2回目です。

「かごしま語っ場ー」。
鹿児島が地元でない方には分かりにくいネーミングだったようです。「語っ」は、鹿児島弁で「語る」。鹿児島について語りましょう、という場が「かごしま語っ場ー」。ただ語るだけでなく、ポジティブに鹿児島を語る。鹿児島の未来を語る。そんな会です。

会の進行にも特徴があります。
昨年開催する際に相談した鹿児島国際大学准教授のジェフリー・アイリッシュ先生の案です。3人のゲストスピーカーにお話ししていただくのですが、持ち時間は10分だけ。それぞれのスピーチの後、少人数のグループでテーマに沿って15分間ずつディスカッション。あえてディスカッションの内容をまとめたり、発表したりはしてもらいません。まとめてそれで終わりでなく、それぞれで考えを深めてほしいという思いからです。

今年3人のゲストスピーカーにお願いしたテーマは、「今まで出会った面白いと思った人、おもしろいと思った活動」です。スピーカーならではのお話は、これだけでもじゅうぶん価値あるものでした。それでは、今回のかごしま語っ場ーの様子を写真を交えてご報告いたします。

MCはサクラ島大学の久保学長。
リラックスした語り口が「語っ場ー」の空気を和ませます。

当鹿児島国際化推進協議会(KIC)の中尾会長の開会のあいさつ。

そして、最初のゲストスピーカーは、天国葬祭と株式会社ミソラリンクの取締役の米丸麻希子さん。
イギリスのブライトン大学院を卒業し、株式会社丹青社で美術館の設計アシスタント、GAPやNIKEといった超一流メーカーで海外リテーラーの日本進出サポート、ユニクロの東証一部上場に向けたマーケティング戦略などを経験された米丸さんの夢は世界平和の架け橋になること。

そんな米丸さんならではのお話は3年ほど前に知り合ったインド人・カリダスさんのこと。

出会いのきっかけは、お友だちが「Facebookで知り合ったインド人が 遊びに来るから、ボディガードとしてきてちょうだい」と声をかけられたことから。なんだか胡散臭そうだなあ、と思いつつ会いに行かれたそう。

さて、実際に会ったインド人のカリダスさんは一体どういう人だったのか？ 続きは2ページ目。

Contents

鹿児島を語ろう かごしま語っ場ー2015 P1 ~ P2
Enjoy Driving around Nansatsu Area Part Ⅱ P3 ~ P4
24 Divisions of The Solar Year And The Standard Days Signifying The Changing of The Season P5
Upcoming Events P6

米丸麻希子さんのお話

なんだか胡散臭そうだなあ
ーそう思いながら会いに行ったカリダスさん。

でも、実際出会って話を聞いてみると、カースト制度が厳しかったインドでも一番上の司祭(バラモン)の次、王族(クシャトリア)の出だったとか。また、カリダスさんはアメリカで学び、現在はノースダコタ州立大学副学長で学生交流を推進しています。氏の尽力で鹿児島大学とも大学間学術交流協定を締結、今夏、学生交換プロジェクトで鹿児島大学から10名ほどが同大学に派遣されたとのことです。カリダスさんは、日本だけでなく他のアジア諸国・アフリカ・南米など12カ国を1年かけて訪問、世界の大学同士をつなげるプロジェクトに尽力しておられます。

そんなカリダスさんの構想はまさに現代のニーズにぴったりのもの。
3食アクティビティ付きの滞在型バカンス「クラブメッド」をご存知の方も多いと思います。子ども向けのアクティビティも充実し、様々な年代に人気でリピーター率の高いことでも知られている「クラブメッド」ですが、お値段もちょっとセレブな雰囲気。
カリダスさんの構想「グローバル・エコ・ビレッジ」は「クラブメッド」の進化版。そこで目指すのは以下の5つ。

1. ポジティブな学び…学習を伴うアクティビティ　(農業体験など)
2. 異文化交流
3. ボランティア活動
4. 健康な体と精神をとりもどす(ヨガ、マクロビなど)
5. 過疎地域に経済効果をもたらす

世界のツーリズムの流れは、いまや単なる観光にとどまらなくなっています。
現地の文化を体験したり、現地の人と交流したり…。枠にはまった観光旅行でなく、その地ならではの醍醐味を求めているのです。魚市場見学が人気なのはそのいい例かもしれません。
このカリダスさんのプランは、そういった流れにまさにぴったりの構想だと言えます。
また、価格も一般向けに抑え、だれでも気軽に利用できるようにしたいとのこと。

カリダスさんが現在エコビレッジ作りを目指しているのが、インド・インドネシア・タイ・日本・コスタリカなど。その中でも最も注目しているのは屋久島。

世界の様々な国から文化体験や交流、ボランティアなどを目的にした人が集まる小さな集合体であるエコ・ビレッジ。地域と密着し、その地域ならではの本当の姿を見て、経験して。
何日か滞在するうちに友情が芽生えることもあるに違いありません。そして、また別のエコ・ビレッジでの再会を約束したり。
なんともすばらしい計画!!

ぜひ、実現してほしい。そして、ぜひ滞在したいと夢がふくらみました。

お話を聞いた後は、少人数グループでのディスカッション。
話すの苦手、なんて気負わなくてもいいのです。
なぜか自然と話したくなるそんな場です。
最初のグループ・ディスカッションのお題は、「グループ内でそれぞれが知っているおもしろい人や活動をしている人の話をする」でした。皆さん、初めて会った人も多かったと思いますが、どのグループも盛り上がっていて、笑ったり、真剣に話し合ったり、話は尽きないようでした。

黄泰恵さんのお話

15分間のグループ・ディスカッションのあとは、仙巌園でガイドをしていらっしゃる黄泰恵さんのお話です。

台湾・台北生まれの黄さんは、大分市日本文理大学日本語学科に留学後、拓殖大学・貿易学科コースを卒業。1993年に鹿児島に移住して以来、裁判所法廷通訳、検察庁調査通訳、海上保安庁翻訳、中国からのクルーズ船の添乗等、得意の語学を生かしていろいろな場所で活躍されています。
現在は仙巌園で通訳、翻訳、園内ガイドを着物姿で務め、多くの海外からの観光客の方々に喜ばれています。

この日も上品な大島紬を颯爽と着こなした黄さんの外国人ならではの視点は、私たちに大切なことを気づかせてくれます。

黄さんが鹿児島にいらして10年。
「出身地である台湾からの観光客の多い仙巌園で毎日中国語でガイドをしているから、日本語が下手になりました」と笑う黄さんですが、そんなことはありません。流暢な日本語でお話ししてくださいました。

黄さんが初めて就職したのはバブル期の後半。きっと有能だったからでしょう、各社から引っ張りだこだったようです。そんななかで黄さんが就職したの台湾出身の経営者が経営するホテル。外国人にとって日本の企業は本当につらいという黄さん。当時はまだ日本語を思うように操れなかったそうで、就職して3日間帰りの電車で泣いたそうです。それでも「絶対負けない。絶対勝つ」と自分に言い聞かせ、3年間がんばったあと、結婚して鹿児島へ。

そんな黄さんの日本の会社で慣例化しているお茶くみについてのお話。
お茶くみはなぜか女性の仕事。きっといやいややっているだろうと思った黄さんですが、ある時、笑顔でお茶を入れる人を見て、いやでやっているのではないと感じたそうです。笑顔でお茶を入れると相手に喜んでもらえる。だから、こちらもうれしいし、あちらもうれしい。そんな日本のさりげない文化を学んでいきたいとおっしゃる黄さん。

そして黄さんは、仙巌園でのガイドのお仕事をするうちに「着物を着ておもてなしをしたい」と考えるようになったそうです。
思い立ったが吉日。それを上司に相談し、着付けはYouTubeで地道に学んだそうです。黄さんが着物でおもてなしをするようになったのは5年前。今では「仙巌園のママ」と呼ばれているそうです。

黄さんは話します。「良いところ、良い環境を整え、良いお客さんに来てほしい」
それが実現するために、ルール違反のお客様にはきちんと「やめて」と言うなど、できることからひとつずつ実践していく。
自分の置かれた環境に不平を漏らして何もしないのではなく、自分なりの理想を抱き、実践していく姿はとても素敵です。

キーノートスピーチのあとの15分間のディスカッション。
今回のお題は、「最初のディスカッションで出てきたおもしろい活動等に自分だったらどう関わるか」でした。

昨年はどのグループにも入らずに写真撮影と観察に明け暮れた私ですが、今年は一つのグループに入れてもらい、ディスカッションの醍醐味を体験しました、と言っても、私のグループでは鹿児島の観光スポットの情報交換に夢中になりすぎてお題まで到達はできなかったのですが、それはそれでとても有意義でした。
自分自身がそんなふうだったので、他のグループの方々にディスカッションの際、どんなお話をしたのか伺ったところ、だいたいどのグループにもなんとなく話をリードする方がいて、お題に沿った有意義なディスカッションができてよかったという感想をいただきました。

こうしてどんどんグループ内の方々との距離が縮まっていくなか、3番目ののゲストスピーカーのお話の時間となりました。
次のゲストスピーカーは、「観光」とは違う目線で鹿児島に触れられる場所として注目されているレトロフトMuseo、レトロフトチトセのオーナー ・永井明弘さんです。

Update Newsletter279号では永井さんのお話と交流会の様子をお伝えします。

*この記事は当協議会のウェブサイト「KAGOSHIMA Visitors' GUIDE」からの引用です。

KIC-update.com　検索

Enjoy Driving around Nansatsu Area Part Ⅱ

“Enjoy Driving around Nansatsu Area” is a series to introduce you to the good sightseeing spots in the Nansatsu area..
In Part?, we learnt about the great views over tea fields in Ei town (頴娃の茶畑), The Local Product Shop Yutori-kan (お茶街道ゆとり館) and one of the popular spiritual places, Kamafuta Shrine (竈蓋神社).

In Part Ⅱ, we’d like to introduce a good viewing spot for Mt.Kaimon, Somen Nagashi (flowing noodles) and Japan’s Southernmost JR Station.

1.The Great Viewing Spot for Mt.Kaimon ”Sebira Natural Park (瀬平自然公園)”

You might have seen this angle in posters and guidebooks, which highlight Mt.Kaimon.
You can see the East China Sea on the right, Mt,Kaimon straight ahead and pine trees in front. It is the view from Sebira Natural Park, a good viewing spot for Mt.Kaimon, The park is located on Route 226 connecting Ibusuki city and Makurazaki city.

The sign of the park

Somen-nagashi restaurant’s menu are roughly the same anywhere.
There are Somen (そうめん), Onigiri (Rice balls / おにぎり), Koikoku (a dish of round sliced carp stewed in miso soup / 鯉こく), Koi-no Arai (slices of raw carp chilled in icy water / 鯉のあらい) and other things.
You can’t miss Masu-no Shioyaki (grilled trout / 鱒の塩焼き). The trout done up brown goes well with the somen noodles which taste soothing as they slide down your throat.
Tosenkyo is about 10 minutes’ drive from Ikeda lake.

It is not only the fact that the place is the somen-nagashi origin that makes Tosenkyo so special, but its location, too.

Masu-no Shioyaki (grilled trout / 鱒の塩焼き)

Onigiri (Rice balls / おにぎり) (left)

2． Local Specialty ”Tosenkyo Somen Nagashi (Tosenkyo Flowing Noodls / 唐船峡そうめん流し)”

A 100,000 tons of spring water, selected as one of the 100 Exquisite and Well-Conserved Waters of the Heisei Period, gush out every day. The water temperature is 13?. When you come down by the shop elevator from the car park, you feel the cool air refreshing you.
The cool stream is running all the time at the side of the restaurants, which are placed in a valley, and it is cool even in summer. The clean air and clear water makes the food so special.

Pick the somen noodles up flowing around the table in a stream of cool water.
It is easier actually than you might think.
There are several places you can have the meal, but Tosenkyo in Ibusuki city is the place of origin. Local people still think that the best place to eat Somen-nagashi is here!
From golden week in May, it gets busier.

There are a municipally-owned restaurant and several privately owned somen-nagashi shops in Tosenkyo.

We visited the privately owned restaurant, Chojuan (長寿庵) which is located behind the municipally-owned restaurant.

3.Japan's Southernmost JR Station, "Nishi-oyama Station（西大山駅）

(Photo: Kyushu Tourism Promotion Organization)

Nishi-oyama Station was opened in 1960 and It is an unmanned station and has no station building. The station is surrounded by fields, and it is a view of the original Japanese landscape.
This station used to be the southernmost station in Japan until the monorail opened in Okinawa, but after that this station became the southern-most JR station on the mainland.

Parking lots are available at the station. The access by car is pretty good because Route 226 is close.
There is a bell which is called "Shiawase-no Bell (Happy Bell / 幸せノベル) in front of the station. Since it is called "Happy Bell", be sure to give it a tinkle!

This is a yellow post box located on the right side of the station. The sign next to it says "The post that delivers happiness".

The post office near the station here was selling postcards and

Even if the post office is not selling them, the shop in front of the station sells the postcards and other things. This shop is also the Nishi-oyama Tourist Information Office. It is actually a direct sales store of a pickles factory, and yet they issue the "Certificate of Arriving at Japan's southernmost JR Station". They also rent power-assisted bicycles

Eight trains stop at the Nishi-oyama Station a day. (Time table: See below) If you come to this station by train, there is plenty of time until the next train comes. Meanwhile you could rent the power-assisted bicycle "Iburin" and visit Flower Park Kagoshima (about 4km from the station), Nagasakibana Parking Garden (about 5 kim) or Kaimon Sanroku Park (about 9km).

Ibusuki-Makurazaki Line For Yamagawa, Ibusuki	
Arrival Time @ Nishi-oyama Station	Destination
5：44	Ibusuki
7：06	Kagoshima Chuo
8：29	Ibusuki
9：00	Ibusuki
14：18	Kagoshima Chuo
16：56	Kagoshima Chuo
19：28	Yamagawa
20：52	Kagoshima Chuo

Ibusuki-Makurazaki Line For Nishi-ei, Makurazaki	
Arrival Time @ Nishi-oyama Station	Destination
6：26	Makurazaki
7：31	Nishi-ei
11：59	Makurazaki
13：37	Makurazaki
17：33	Makurazaki
18：44	Makurazaki
20：09	Makurazaki
21：37	Nishi-ei

南薩観光の穴場スポットをシリーズで紹介している「Enjoy！南薩ドライブ」。
Part Ⅰでは、頴娃の絶景・お茶畑、物産館のゆとり館、そして、パワースポットとして大人気の竈蓋神社を紹介しました。
今回は、 開聞岳絶景スポット、そうめん流し、JR日本最南端の駅をレポートします。

１．開聞岳絶景スポット「瀬平自然公園」
開聞岳を紹介するポスターやガイドブック、絵画で必ず目にするのが、このアングル。右手に東シナ海の青いを臨み、正面に開聞岳。手前には松の木。
開聞岳のビュースポット「瀬平自然公園」からの眺めです。指宿市と枕崎市を結ぶ国道226号線沿いにあります。

２．名物「唐船峡そうめん流し」
鹿児島では「流しそうめん」ではなく、「そうめん流し」と言います。最近ではご存知の方も多いと思いますが、円卓の真ん中を水がぐるぐる流れていて、そこにそうめんを流します。現在は、そうめん流しを食べられる場所はいろいろありますが、発祥の地は、ここ指宿市開聞の唐船峡。今でも、そうめん流しと言えば唐船峡です。 特に5月の連休頃から多くの人で賑わいます。

唐船峡には、市営のお店と民営のお店が並んでいます。この日は、奥にある民営の長寿庵に行きました。
そうめん流しのメニューは、どこもだいたい同じです。そうめんとおにぎり、鯉こく、鯉あらいなど。外せないのは鱒の塩焼き。 こんがりとおいしく焼けた塩焼きはのどごしの爽やかなそうめんととても合います。

唐船峡は、池田湖から約10分。
唐船峡がこんなにも特別なのは、そうめん流し発祥の地ということに加えて、そのロケーションにあります。平成の名水100選に認定された清水は1日10万トンも湧出しています。渓谷の水温は13度。この渓谷にあるそうめん流しのお店には、市営、民営共同のエレベーターで降りていくのですが、クーラーがなくてもひんやり。お店の左手には、自然の冷水が常に流れていて夏でも涼しいのです。ここだからこそのきれいな空気とおいしいお水。そこで食べるそうめんや塩焼きは格別です。

３．JR日本最南端・西大山駅
1960年に開業した西大山駅には駅舎のない無人駅。まわりは一面に広がる田園で日本の原風景のイメージ。JR日本最南端の言葉にふさわしい旅情を感じさせます。
2003年に沖縄都市モノレール（ゆいレール）ができるまでは「日本最南端駅」でしたが、以降「JR日本最南端駅」となりました。駐車場はきちんと整備されていて、国道226号線が近いので、車でのアクセスは便利。
駅の前にはベルが設置されています。その名も「幸せのベル」。鳴らすと幸せになれるかな？

こちらは、駅に向かって右手にある黄色いポスト。隣の看板には「幸せを届ける黄色いポスト」とあります。この日は郵便局からの出張販売があり、駐車場の隅に張られたテントの下ではがきは切手が売られていました。郵便局の出張販売がなくても、左の写真の西大山観光案内所を兼ねた中園久太郎商店ではがきなどを販売しています。
このお店は、漬物工場の直売所。『JR日本最南端の駅到着証明』の発行や電動アシスト付き自転車のレンタルもしています。

西大山駅に停まる列車は一日8本。車で来た場合、次の便まで時間があるので、電動アシスト自転車「いぶりん」をレンタルして フラワーパークかごしま（約4km）や長崎鼻パーキングガーデン（約5km）、開聞山麓公園（約9km）に足を伸ばすのもいいですね。

24 Divisions of The Solar Year; 24 Terms Used to Denote The Changing of The Seasons And Standard Days Signifying The Changing of The Seasons
二十四節気と雑節

We have an information web site, “KAGOSHIMA Visitors’ GUIDE” for visitors and residents in Kagoshima.
Also, we have a Facebook page in which we write about events and cultural activities of Kagoshima and Japan.
24 terms used to denote the changing of the seasons and standard days signifying the changing of the seasons have been an integral part of people's lifestyle and even now Japanese people know the change of seasons through them.
We introduce the custom in English and Japanese on Facebook.
二十四節気と雑節は日本人の文化に深く根ざし、季節の移ろいの目安となってきました。
鹿児島国際化推進協議会のFacebookページ「KIC-update」ではこれらを日本語と英語で紹介しています。

November

立冬 (Rittou)
November 8 (Sun)

This is the 19th of 24 solar terms (節氣) in the traditional East Asian calendars.
It is the first day of winter by the old calendar.
It gets colder and people feel the winter is coming.
Rittou is middle of Shubun (秋分), autumn equinox and Touji (冬至), the winter solstice. From Rittou to the day before the first day of Spring (Shunbun / 春分) by the old calender (around 4th or 5th of February) is the winter.

24節気の第19。
暦の上で冬の始まりとされています。
立冬は、秋分と冬至の真ん中に当たります。だんだん寒くなり、冬の気配を感じるころですね。また、日もますます短くなります。
暦の上では、立冬から立春の前日までが冬なのだそうです。

小雪 (Shosetsu)
November 23 (Mon)

“Shosetsu (小雪)” is the 20th of 24 solar terms (節氣) in the traditional East Asian calendars.
It is the season in which the winter comes. However, there is not much snow yet, so it is called “Shosetsu (Little snow)”. The sunshine gets weak and the air gets colder.

今日は小雪。24節気の第20。
いよいよ冬の到来。とはいえ、まだ雪はそれほど降らないので「小雪」と呼ばれるそうです。日差しが弱まり、次第に寒さが厳しくなっていきます。見回してみると、木々や空がすっかり冬色ですね。

December

大雪 (Taisetsu)
December 7 (Mon)

“Taisetsu (大雪)” is the 21st of 24 solar terms (節氣) in traditional East Asian calendars.
It is the season in which it snows not only in the mountains but on the plains, too.
It is also the season that the fruits of nandina (heavenly bamboo) turn red, the season people start to catch yellowtails, and the season when Bears start to hibernate.
Ski resorts start to open around this season. Gokase Highland Ski Resort will open December 4th (Fri) and Kuju Suki Resort will open December 5th (Sat).

大雪は24節気の第21。
山間部だけでなく、平地にも雪が降り始めるころだそうです。また、南天が色づき、ブリ漁のシーズンであり、クマが冬眠に入る時季だそうです。
スキー場のオープンもこの時季。五ヶ瀬ハイランドスキー場は12月4日(金)に、九重スキー場は12月5日(土)にオープン予定です。

冬至 (Touji)
December 22 (Tue)

“Touji (冬至)” is the 22nd of 24 solar terms (節氣) in the traditional East Asian calendars.
“Toji” literally means winter reach, and actually means winter solstice. On this day, the day time is the shortest and the night time is the longest in the northern hemisphere.
In Japan, people say if you have a hot bath scented with yuzu (an aromatic Japanese citron), and eat pumpkins, you won’t catch cold.

Winter solstice is the Yin energy reaching the peak level and Yang energy is reborn at the same moment. It is called “Ichiyo Raihuku (一陽来復)” which means “return of spring” or “favorable turn of fortune”, and in ancient times, people used to think from this day luck tuuns better.

冬至は24節気の第22。
一年のうちで最も昼が短く、夜が長い日です。
日本では、この日に柚子湯に入り、カボチャを食べると風邪をひかないと言われています。
冬至は別名「一陽来復」と呼ばれ、陰の気が極まり、陽が復する日。すなわち「復活の日」であり、この日を境に運気が上昇すると考えられていました。

*The dates above depend on the lunar calendar, so they change every year.
上記の日付は変わることがあります。

Ski Resort Info

Gokase Highland Ski Resort
（五ヶ瀬ハイランドスキー場）

Place: Gokase, Nishi-usuki county, Miyazaki prefecture
Open: 8:00 ~ 16:30
Fee
Lift Charge for 1 day (Weekday):
Adults 4,000 yen / Children 2,800 yen
Lift Charge for 1 day (Sat, Sun & Holiday):
Adults 5,000 yen / Children 3,300 yen
Lift Charge for 4 hours (Weekday):
Adults 3,400 yen / Children 2,400 yen
Lift Charge for 4 hours (Sat, Sun & Holiday):
Adults 4,200 yen / Children 2,800 yen
Season Tickets:
Adults 40,000 yen
Children & 60 yrs+ 25,000 yen
Tel: 0982-83-2144
URL: http://www.gokase.co.jp/ski/price/index.html

Kuju Suki Resort
（九重森林公園スキー場）

Place: Kokonoe-machi, Kusu county, Oita prefecture
Open: Weekdays 9:00 ~ 17:00
Sat, Sun & Holiday 8:30 ~ 17:30
Night time (Sat, Sun & Holiday) 16:00 ~ 21:00
Fee
1 day + Entrance fee (Weekday):
Adults 5,000 yen / Children 4,000 yen
1 day + Entrance fee (Sat, Sun & Holiday):
Adults 5,500 yen / Children 4,500 yen
4 hours + Entrance fee (Weekday):
Adults 4,000 yen / Children 3,500 yen
4 hours + Entrance fee (Sat, Sun & Holiday):
Adults 4,000 yen / Children 3,500 yen
Night Time Tickets:
Adults 3,5000 yen
Children 3,500 yen
Tel: 0973-79-2200
URL: http://www.kujyuski.co.jp/index.htm

Upcoming Events

VISITING AND PRAYER KANMURI-DAKE (KANMURI-DAKE MAIRI / かんむり嶽参り)

Kanmuri-dake is one of the Sacred mountains in *Satsuma* peninsula (another one is Mt. *Kinpo* in *Minami-satsuma*).
It has a legend in which *Jofuku* (a legendary person who lived in China and asked for permission to search for an elixir for *Shi Huángdì*) came to search for the elixir of life about 2,200 years ago.
A *goma* memorial service will be held invoking citizen's happiness.
There's a Kanmuri-dake hill market products exhibition (*Kanmuri-dake yamaichi bussan-ten*) in which about 70 shops sell local products and other things. *Nagasaki* Dragon Dance Performance will also be held.
There is a free shuttle bus service from Ichiki-kushikino-shi Tamokuteki Ground to the event site.
Date: November 23 (Mon) *National holiday
Time: 9:30 ~ 15:30
Place: Kanmuri-dake Hanakawa Sabo Park, Ichiki-kushikino city
Info: Ichiki-kushikino city hall / 0996-32-3111
URL:
http://www.chingokuji.org/function/11_kanmuridakemairi.html

冠嶽は南さつま市にある金峰山とともに「薩州二大霊山」と呼ばれるパワースポットで、今から2,200年以上昔、秦の始皇帝の命により不老不死の仙薬を求めて蓬莱を目指した徐福がたどり着いたといわれる伝説の残る地です。
冠岳の岩山「護摩岩」の天辺で白い煙を立ち上らせながら行われる護摩焚きは荘厳。
冠嶽山市物産展っでは例年70店が特産品などを販売。長崎の龍踊も披露される。
いちき串木野市多目的グラウンドからイベント会場へ無料シャトルバス運行。
「冠嶽」に関するブログ記事。こちらもチェックを。
http://kic-update.com/text/2494/
日時: 11月23日(月・祝日)
場所: いちき串木野市冠岳
(いちき串木野市冠嶽13511)
お問い合わせ: いちき串木野市水産商工観光課
0996-32-3111
URL:
http://www.chingokuji.org/function/11_kanmuridakemairi.html

RYUMONJI WARE POTTERY FESTIVAL\ (RYUMONJIYAKI TOUKIMATSURI / 龍門司焼陶器祭)

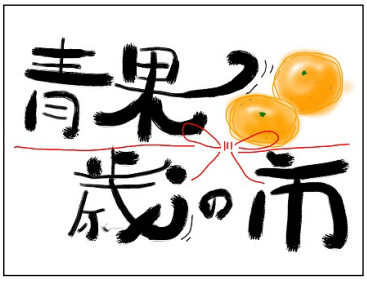
Ryumonji ware pottery will be sold at a special price of 20% off.
Some events such as making pottery with a lathe (2,160 yen ~), guessing the weight of a vase and other things will be held. A sale of special products will also be held, too.
Date: December 11 (Fri) - 13 (Sun)
Time: 8:30- 17:00
Place: Ryumonji ware pottery, Kajiki town
Info: Executive (*Ryumonji-yaki Kigyo Kumiai*) / 0995-62-2549
URL: http://ryumonjiyaki.jp/

HAKAHAKA SHIWASU MARKET (HOKAHOKA SHIWASU-ICHI / ほかほか師走市)

An annual event in *Kajiki* before the new year. A lot of stalls at which they sell new year goods, convenience goods, pottery, trees and seedlings.
Date: December 12 (Sat) - 13 (Sun)
Time: 9:00 - 17:00
Place: Kamoda-omoi street, Kajiki town
Info: Executive (Kamoda-dori Shoten-gai) / 0995-63-4311
URL:
http://www.nihon-kankou.or.jp/kagoshima/462250/detail/46441ba2212021057

KASEDA YEAR-END MARKET (KASEDA TOSHI-no ICHI / かせだ歳の市)

This market has been held at the end of the year since the *Meiji* era (1883). Honmachi-dori will kept completely free of cars during the event, and shops will sell special products of the area, marine products, cutlery and other things.
Lightweight truck market, an exhibition of the products of Asahikawa, Hokkaido will also be held.
Date: December 19 (Sat) ~ 20 (Sun)
Time: 9:00 ~ 17:00
Place: Kaseda Yumepika Honmachi-dori, Kaseda, Minami-satsuma city
Info: Minami-satsuma Shoko Kaigisho / 0993-53-2244



OKOBA MOUNTAIN GOD FESTI VAL (OKOBA YAMANKAN MATSURI / 大木場山神祭)

It is based on a local *Heike* legend that *Heike* people put a slipper which covers 10 *tatami* mats on a pass to the village entrance. *Genji* people who were chasing them were scared of it and ran way. People dedicate about 30kg, 2m diameter slippers on the day of the monkey in November by the lunar calender every year.
Date: December 20 (Sun)
Time: 15:00 ~
Place: Oyamazumi shrine, Okoba area, Oura town, Minami-satsuma city
Info: Ganjin Kinen-kan / 0993-68-0288

IBUSUKI RAPE BLOSSOMS MARATHON RACE (IBUSUKI NANOHANA MARATHON TAIKA / いぶすき菜の花マラソン大会)

This is a big full marathon event which 18,000 people from all over Japan enter. Only people 19 yrs old and above can enter this race.
Enjoy running the certified marathon course looking at Lake Ikeda, Mt. Kaimon and yellow rape blossoms along the road in the new year air!
The local volunteers will welcome you with sweet potatoes, pickles and many other foods and drinks at the aid stations.
Date & Time: January 10 (Sun) 9:00 ~
Entry 12 (Sat) 14:00 ~ 17:30
13 (Sun) 6:30 ~ 8:00
Place: Start at Ibusuki city Sogo Tiikukan, Ibusuki city
Participation Fee: 5,000 yen
Application Deadline: November 30 (Fri)
***Through the internet site such as JTB Sports Station, Sports Entry or RUNTES.**
Acomodation Deadline: November 13 (Fri)
***JTB Convention Center: 092-751-2102**
Nanohana Marathon Executive / 0993-22-2550
URL:
http://www.ibusuki-nanohana.com/marathon/

VISITOR CENTER **Update**

© K. P. V. B

Update Newsletter is edited and issued by Visitor Center Update.
We also offer information on sightseeing, transport service, accommodation and restaurants, all on our web site, "KAGOSHIMA Visitors' GUIDE" and on facebook "KIC-update".
We'd like to hear from you. Mail us with your suggestions for future articles, and your comments about the content of Update. If you would like to write an article for Update, let us know.

Update NewsletterはVisitor Center Updateにより編集、発行されています。
ウェブサイト「KAGOSHIMA Visitors' GUIDE」とFacebookページ「KIC-update」でも観光、交通、食、文化など鹿児島の情報を発信しています。
これらの情報についてのご意見や投稿を募集しています。下記までご連絡ください。

KIC-update.com 検索

Visitor Center Update / Editor: Shiho. Forbes
2F Hiratabashi Bldg.. 8-13 Hirano-cho, Kagoshima City, JAPAN 892-0848
Tel: 099-224-8011 / Fax: 099-224-8012
E-mail: info@kic-update.com
URL. http://kic-update.com/
Facebook https://www.facebook.com/kicupdate